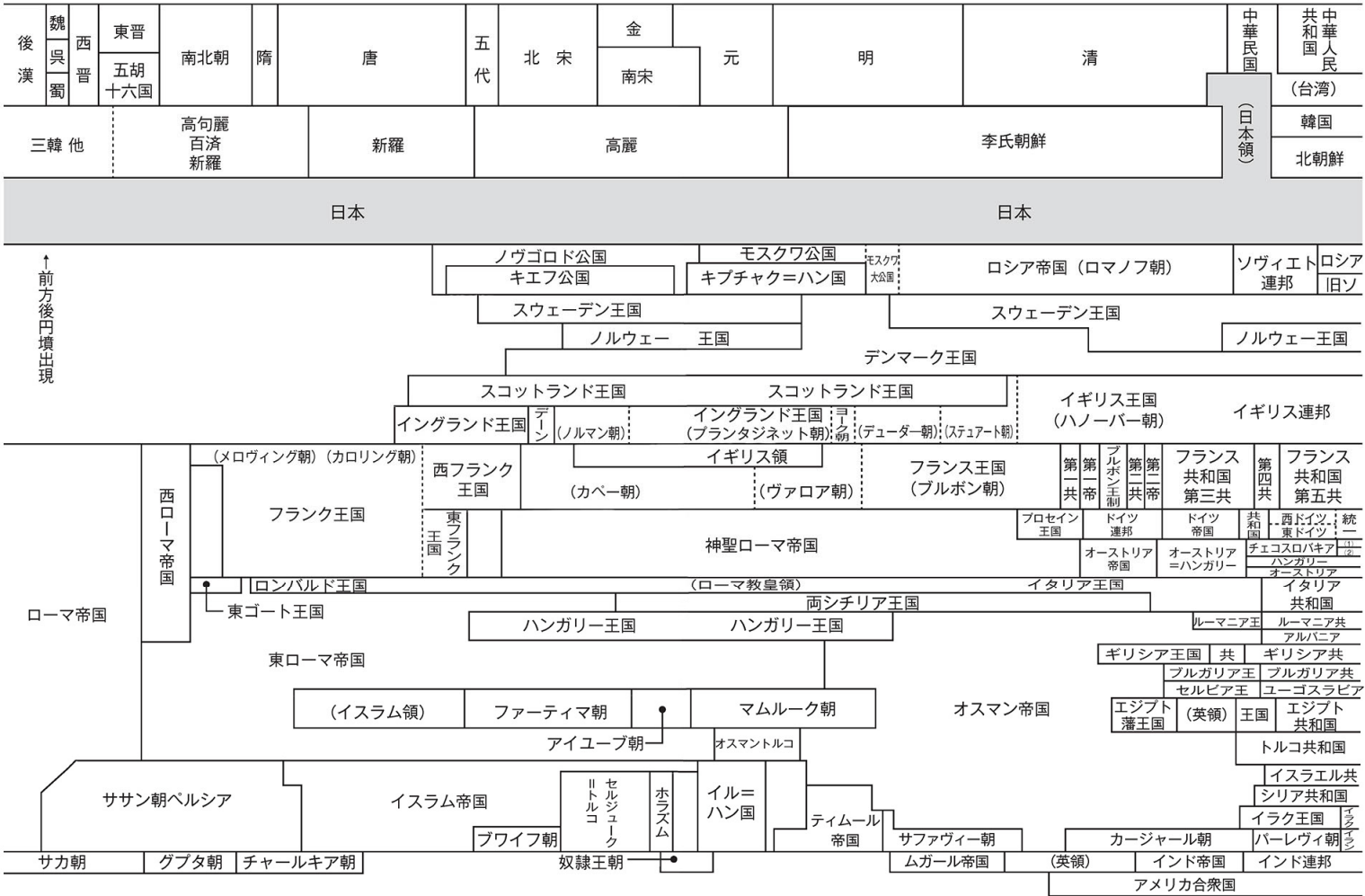


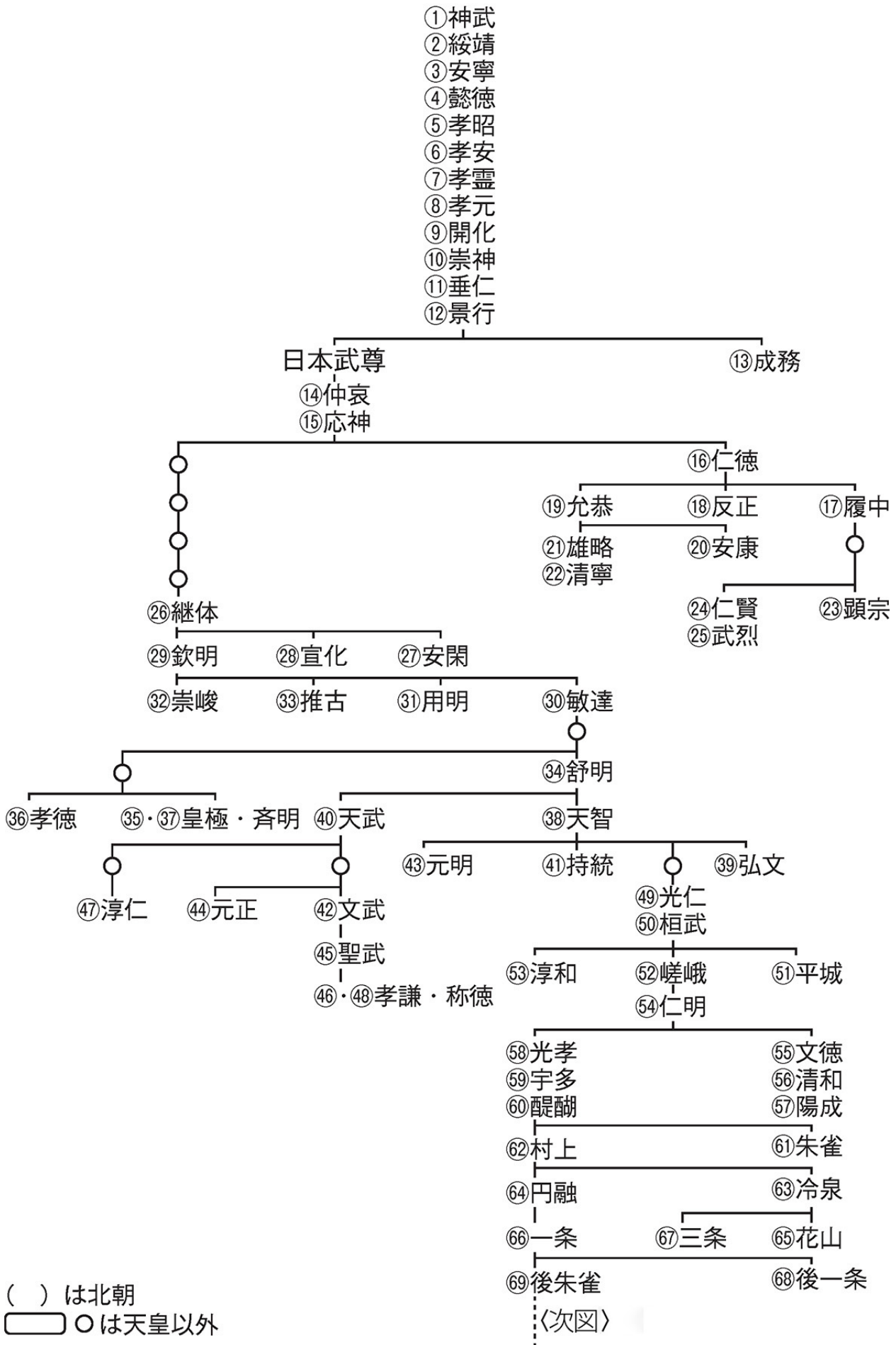
世界各国略年表

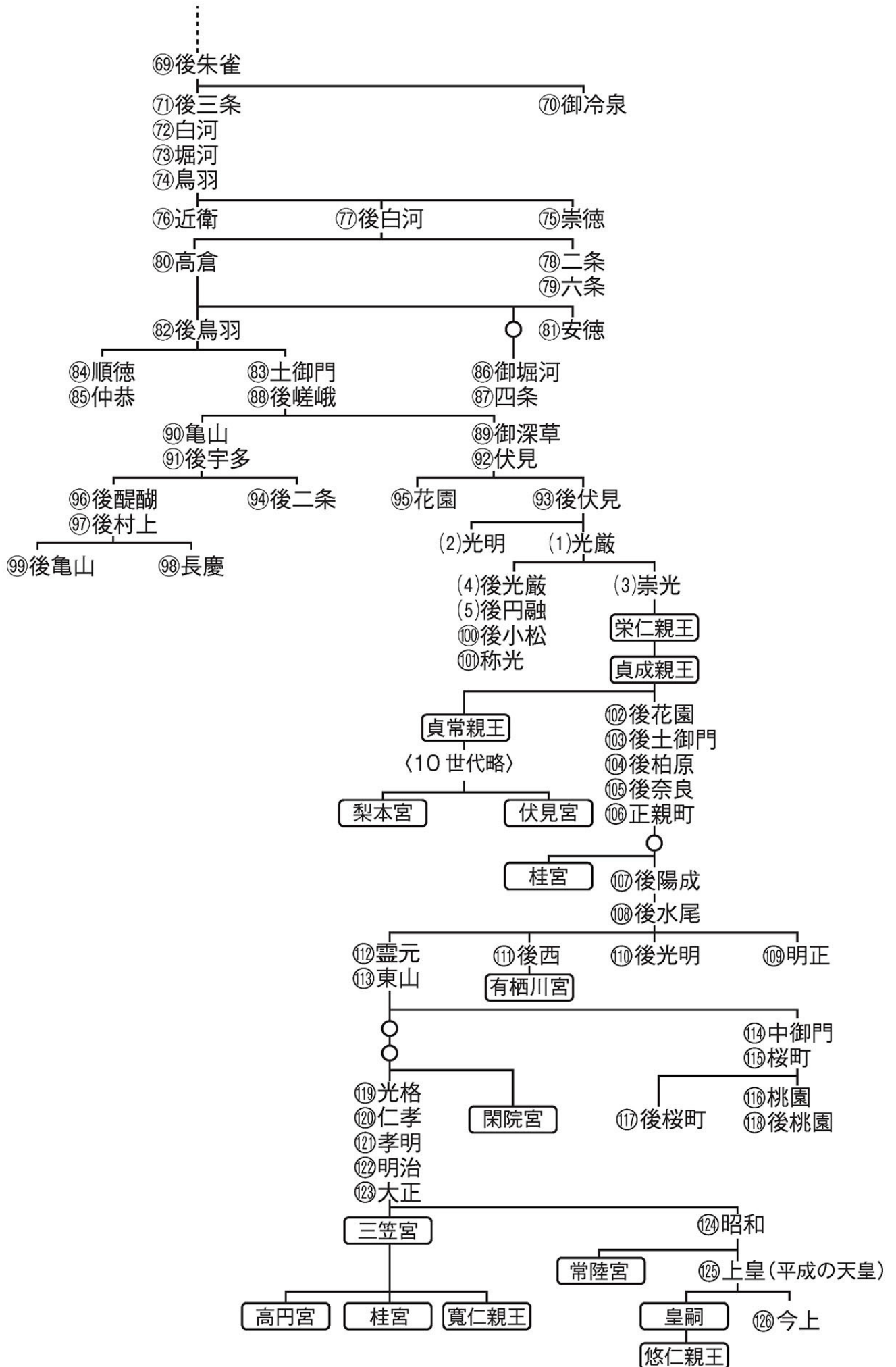
200 300 400 500 600 700 800 900 1000 1100 1200 1300 1400 1500 1600 1700 1800 1900 2000



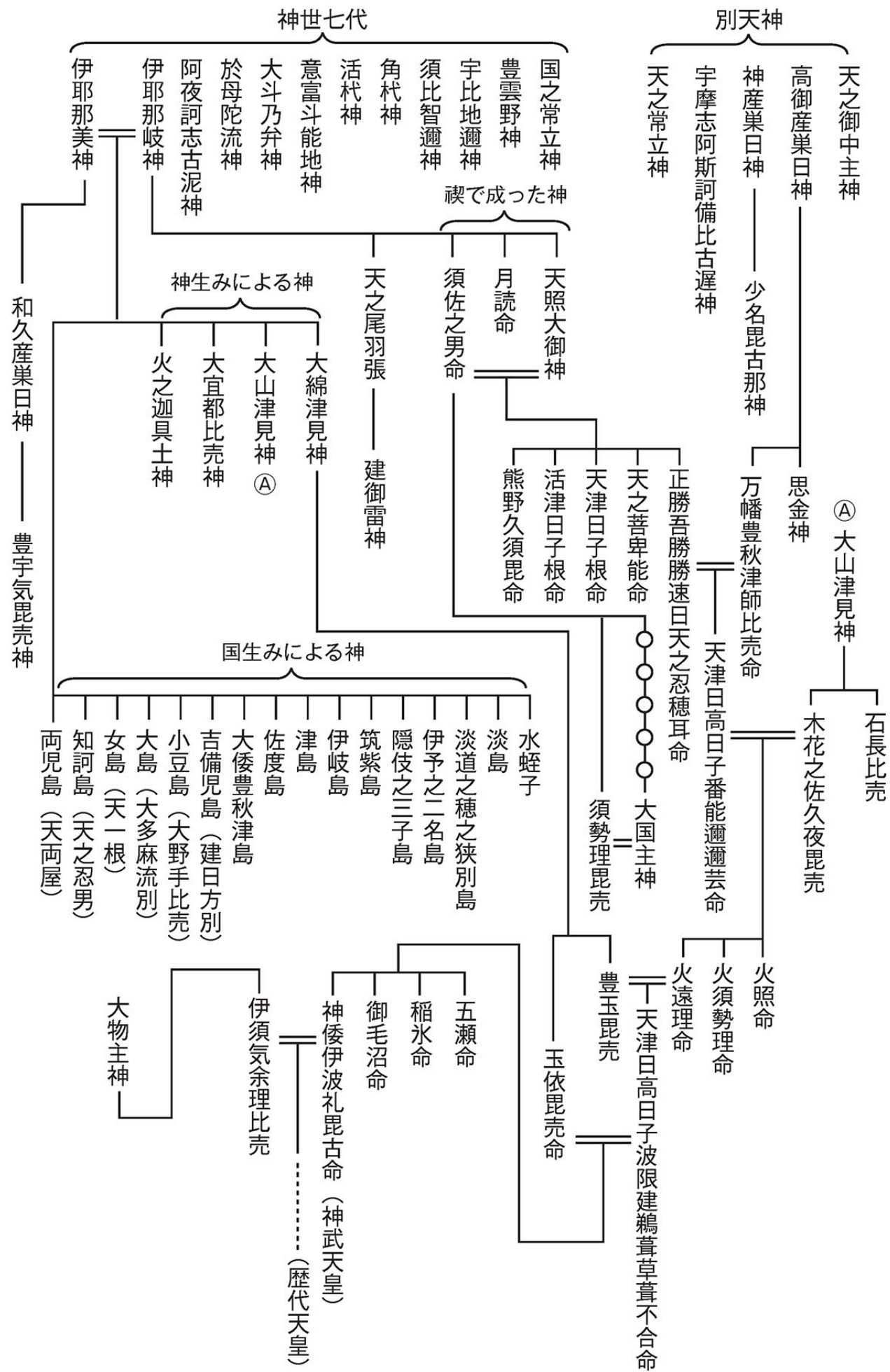
①チェコ
②スロバキア

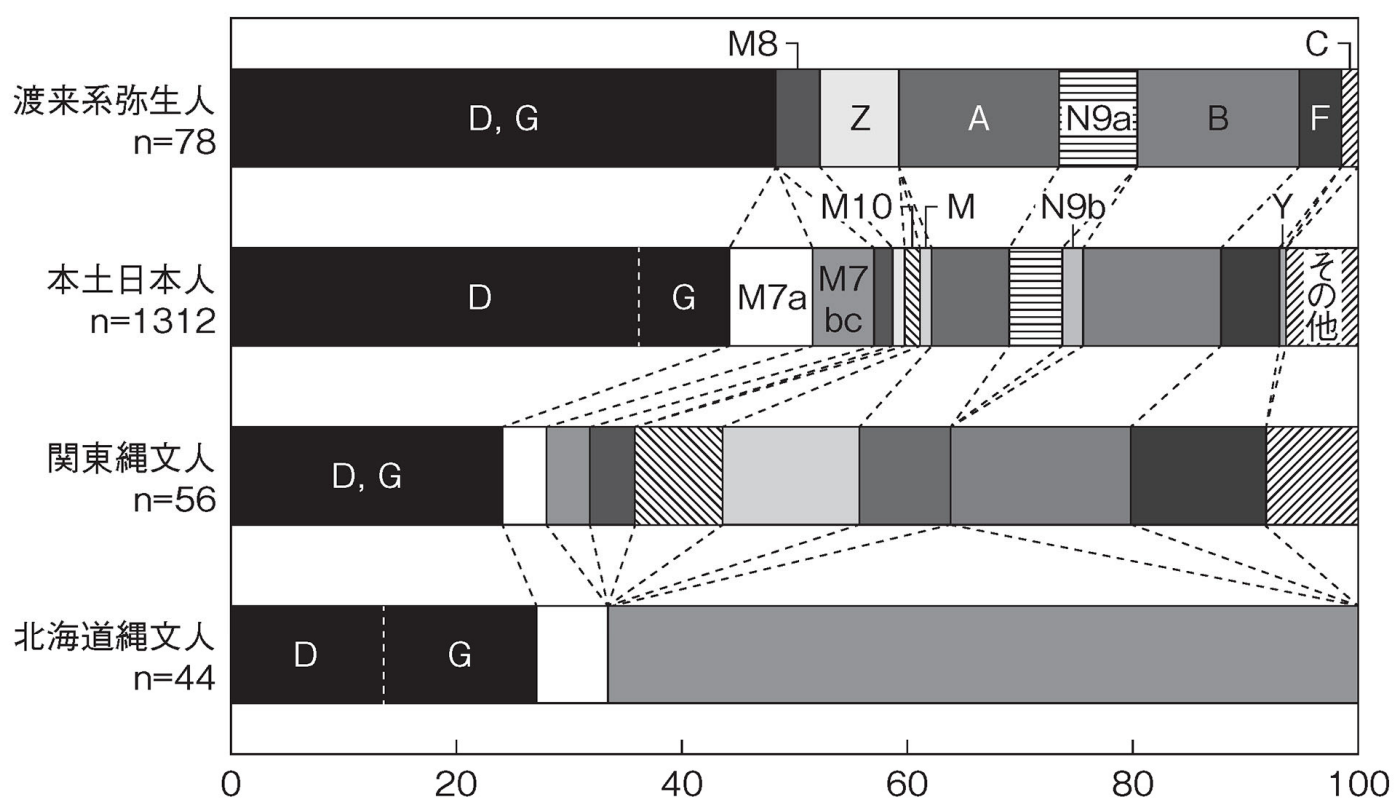
歴代天皇の皇位継承図



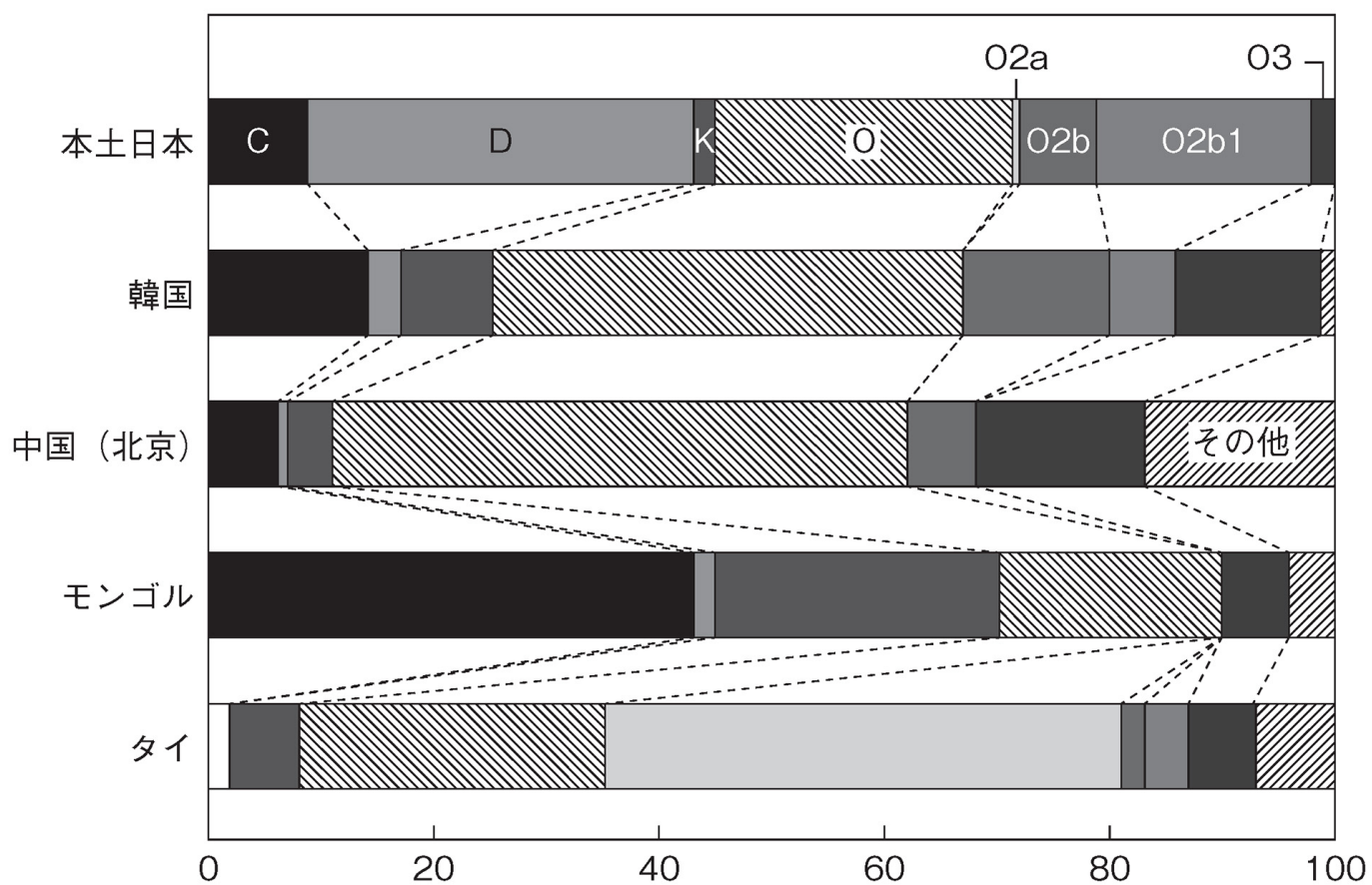


神統譜

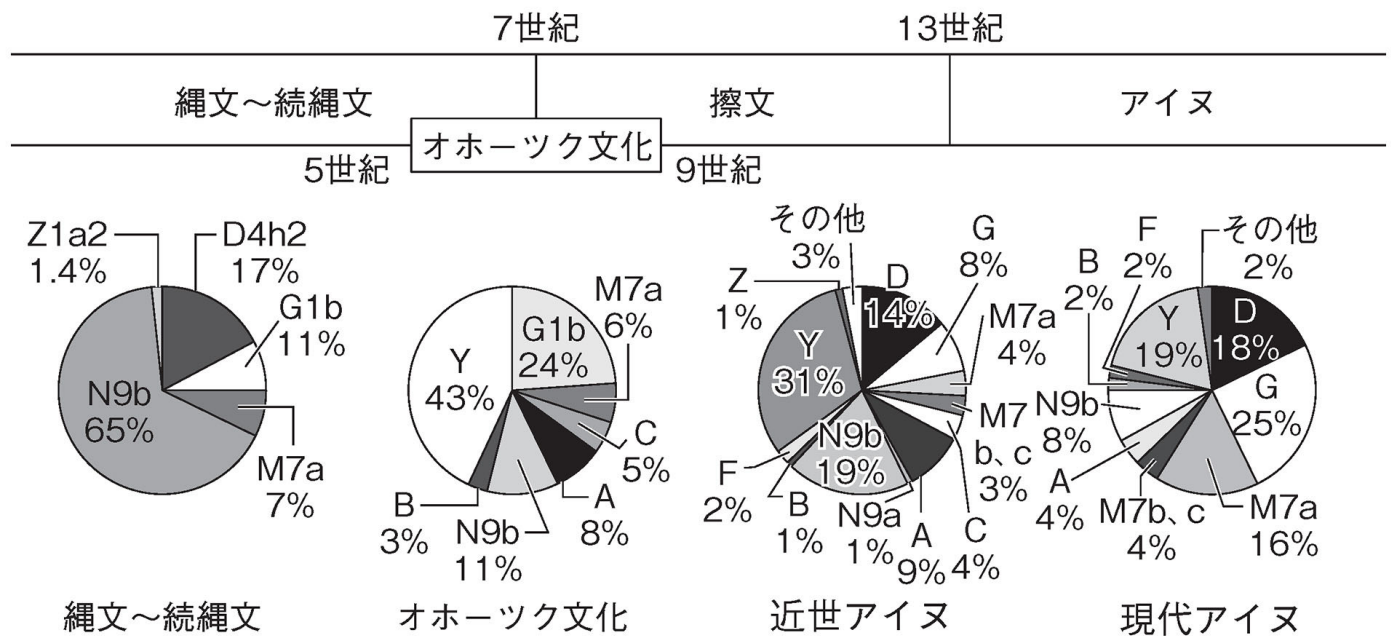




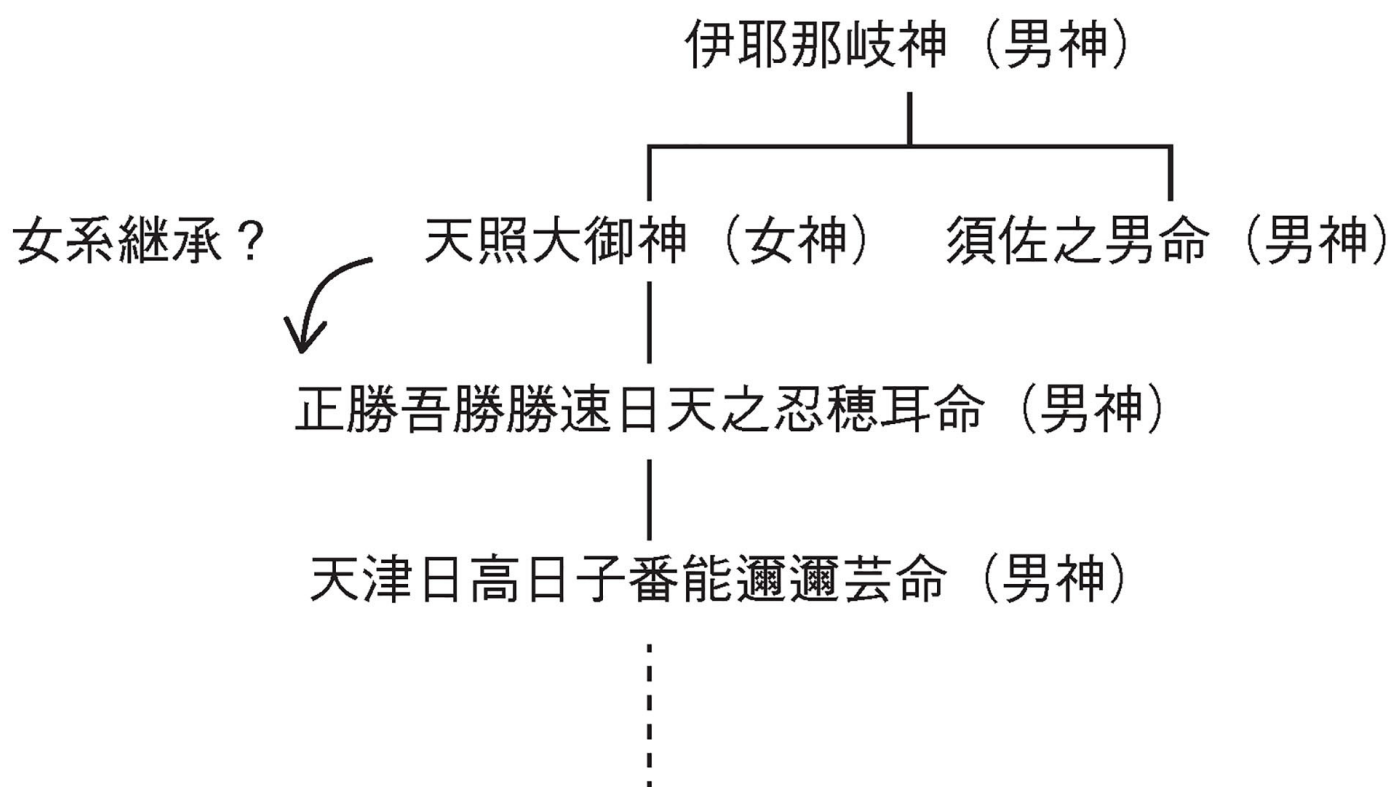
図表1 日本の現代人と縄文・弥生人のmtDNAハプログループ頻度の比較
(篠田謙一『日本人になった祖先たち』2007より作成)



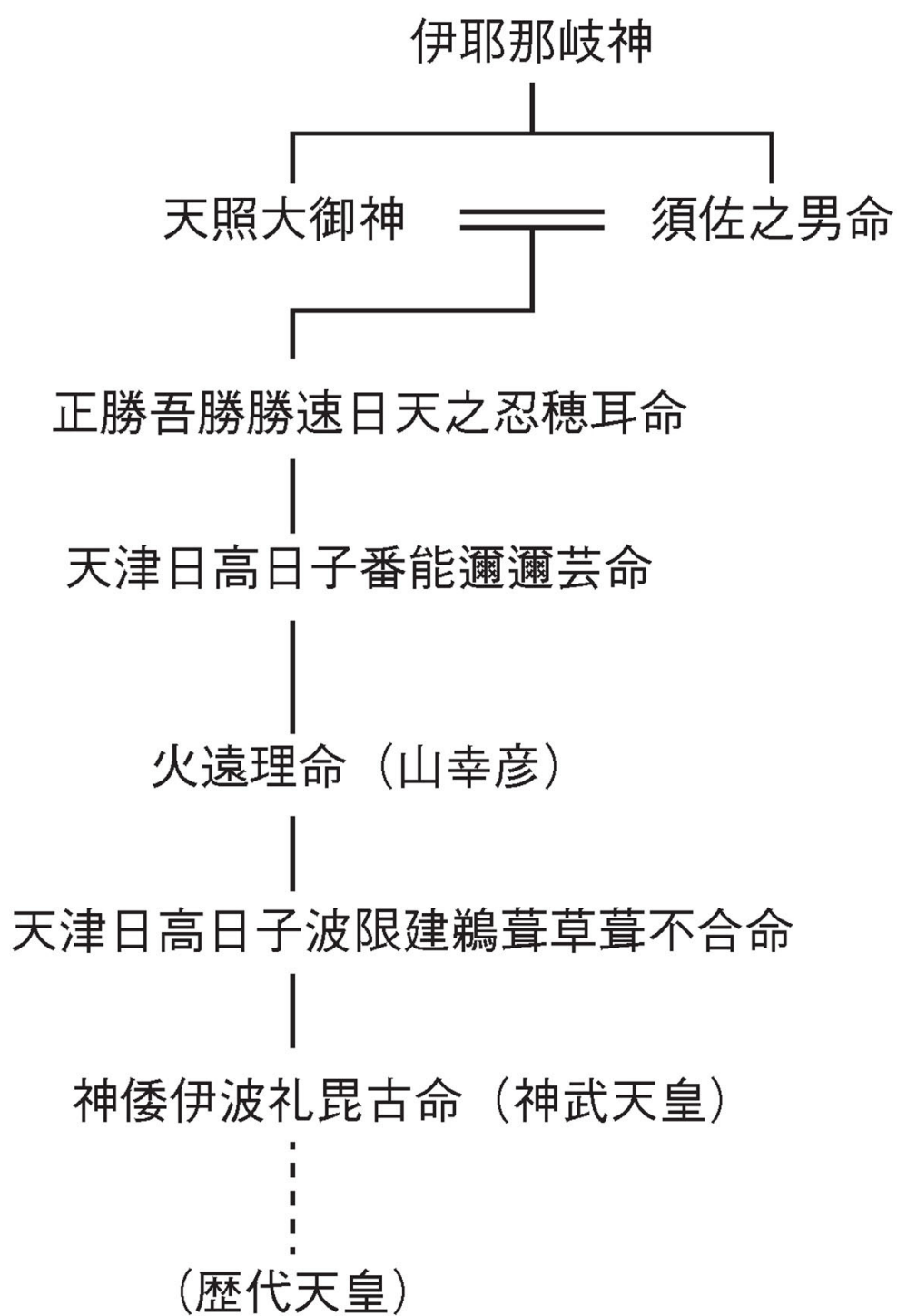
図表2 日本列島および周辺の地域のY染色体頻度
 (篠田謙一『日本人になった祖先たち』2007 より作成)



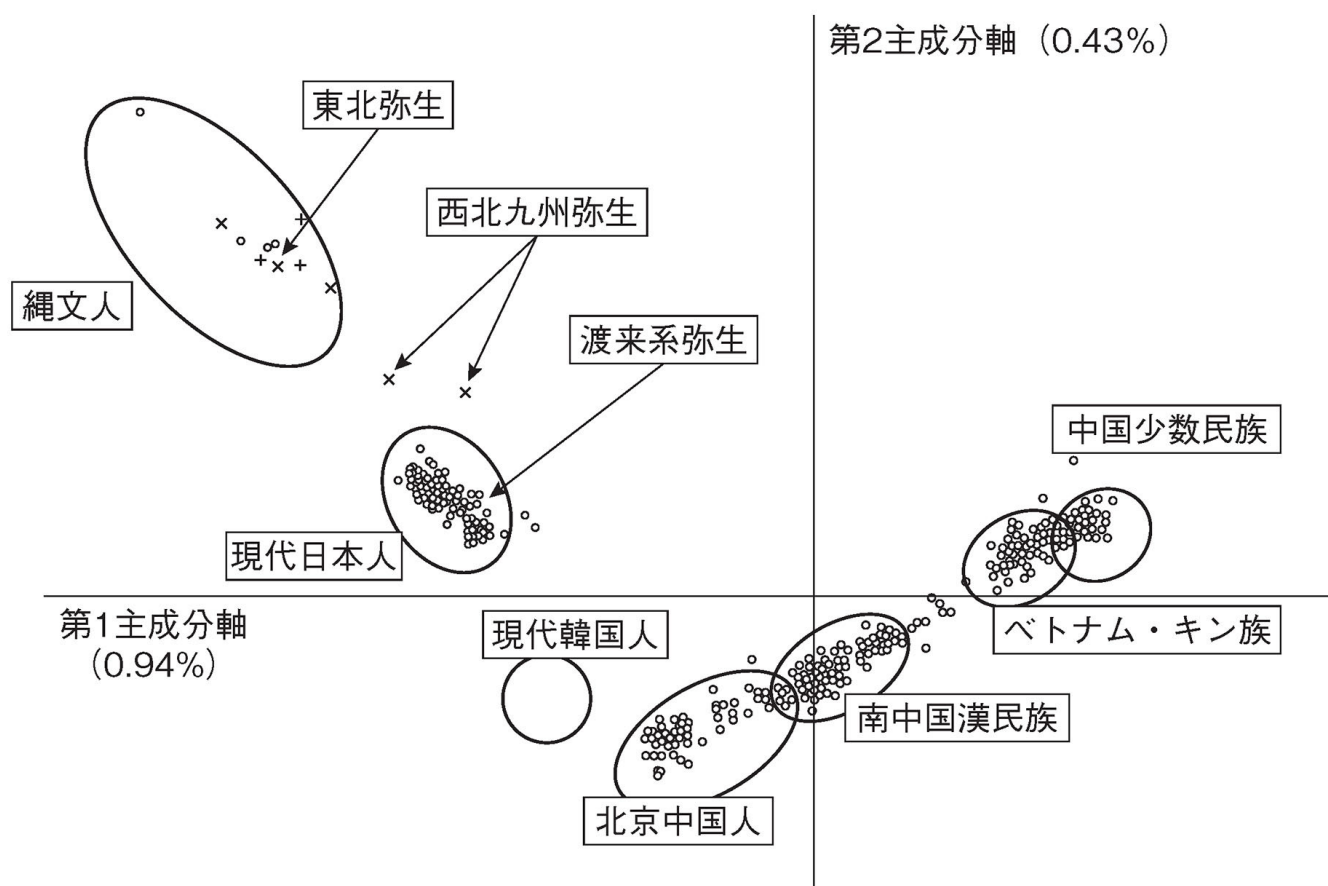
図表3 北海道のmtDNAハプログループの変遷
(篠田謙一『日本人になった祖先たち』新版、2019より作成)



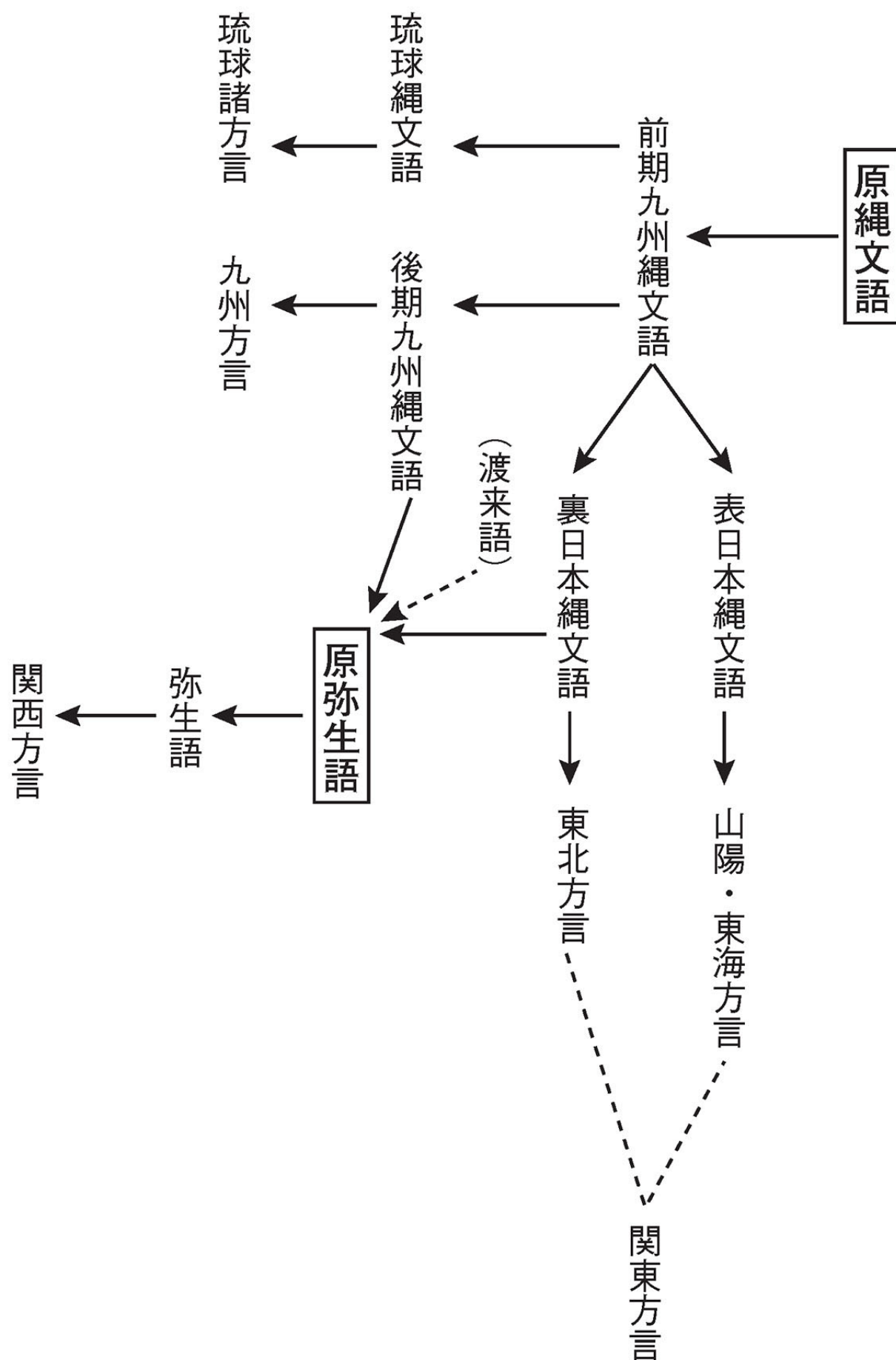
図表 4 最初の皇位継承は「女系」継承なのか？



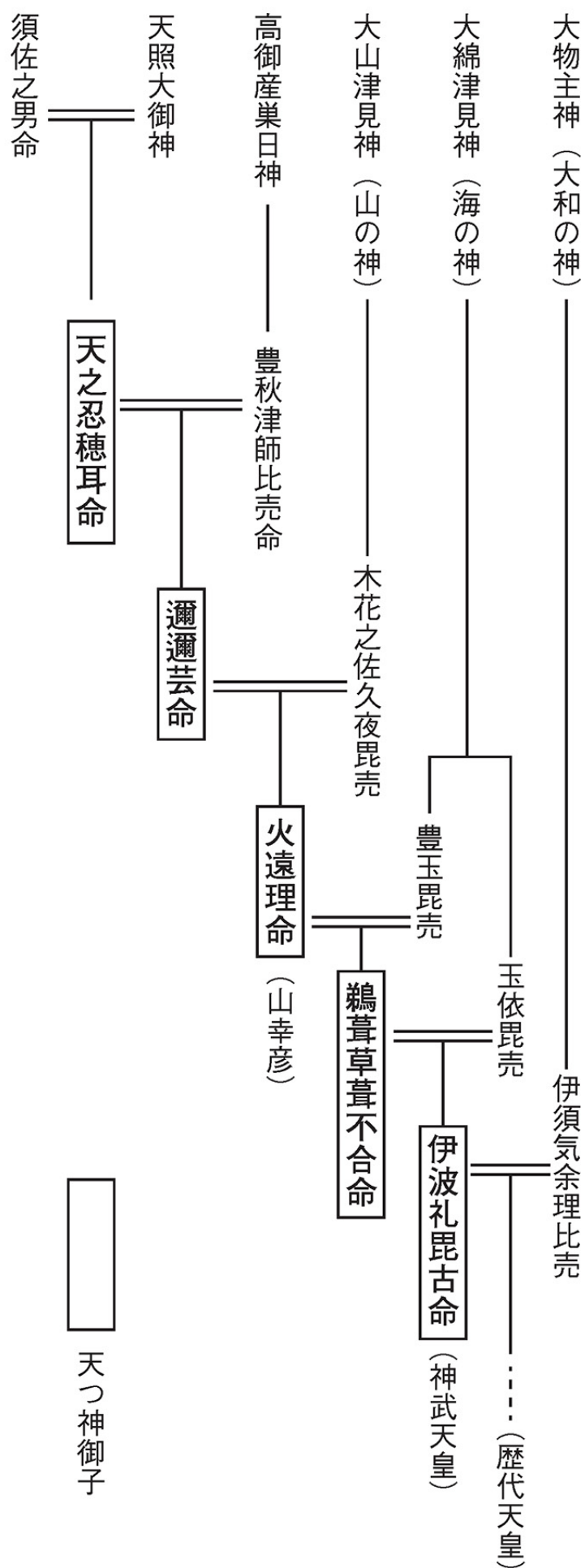
図表 5 「男系」で繋がる伊耶那岐神と神武天皇



図表6 東アジアの現代人と縄文人、弥生人を含めた核ゲノム主成分分析の結果
(篠田謙一『日本人になった祖先たち』新版、2019より作成)



図表 7 原縄文語、原弥生語と現代日本語の関係
 (小泉保『縄文語の発見』新装版、2013 より作成)



『漢書』

「樂浪海中有倭人」

『後漢書』

「倭在韓東南大海中」

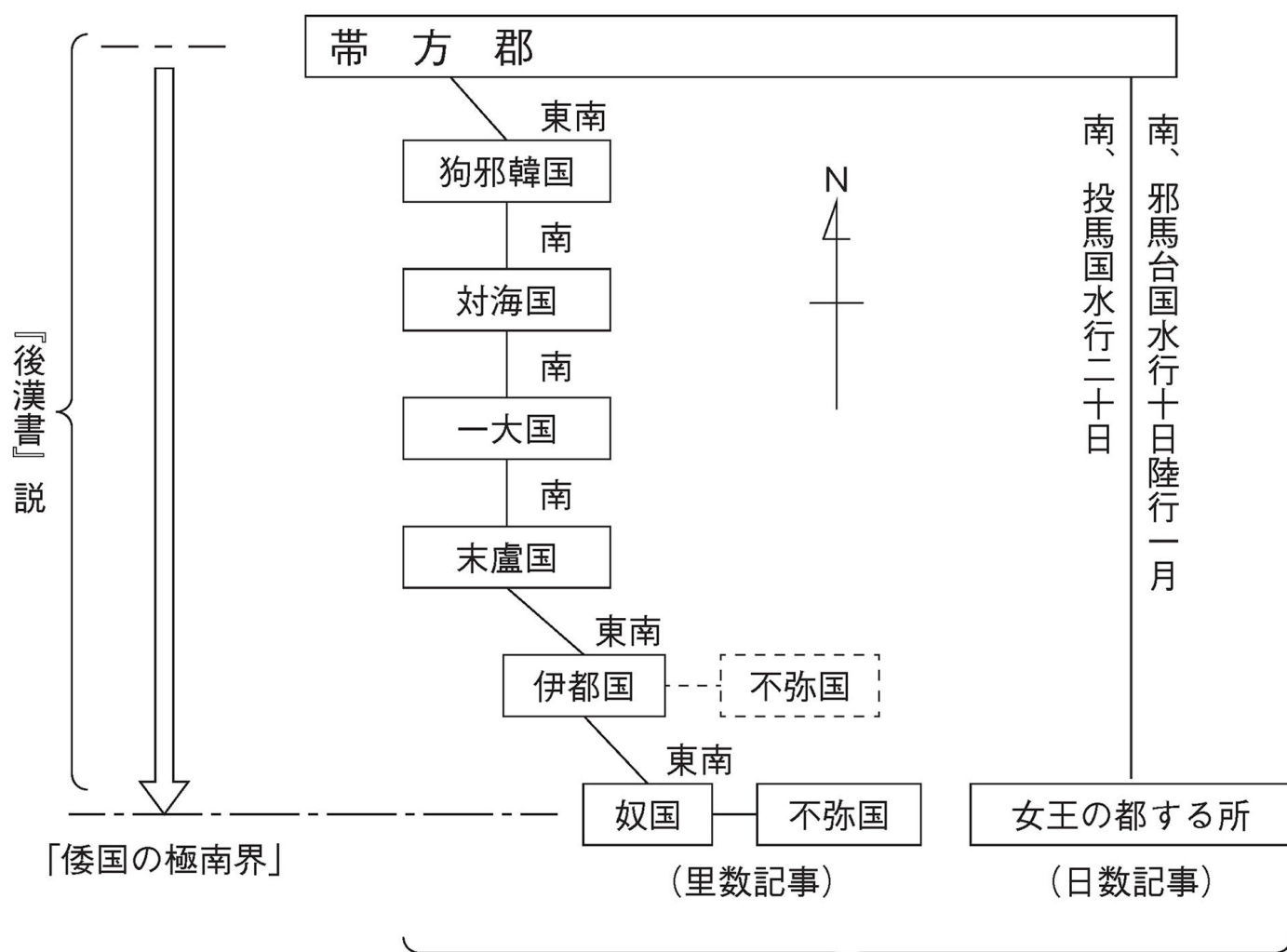
『魏志』

「倭人在帶方東大海之中」

鶴見岳	AD1C	VEI2(中規模) マグマ噴火、火砕流降下
由布岳	紀元前後	VEI3(やや大規模) 山体崩壊によるマグマ噴火
開聞岳	紀元前後	VEI4(大規模) マグマ噴火
久重山	AD1C ～ AD2C	水蒸気噴火
硫黄岳	BC2C ～ AD12C	活動期 マグマ噴火を繰り返していた
桜島	BC10C ～ AD11C	活動期 マグマ噴火を繰り返していた
開聞岳	AD2C	VEI3やや大規模 マグマ噴火
久重山 黒岳	AD3C ～ AD4C	VEI5(非常に大規模) マグマ噴火

(気象庁編『日本活火山総覧(第四版)』ウェブ掲載版より作成)

図表9 紀元前後から四世紀にかけての九州の噴火



『晋書』説…総戸数の立場より
 邪馬台国＝魏時代の三〇国＝七万戸
 里数記事は距離／日数記事は所要日数

図表 10 『後漢書』と『晋書』は『魏志』をどう解釈したか
 (孫栄健『邪馬台国の全解決』決定版、2018 より作成)